

## 新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	サイバーナイフによる円形照射野を用いた頭蓋内定位放射線治療計画の線量検証結果に影響を与える治療計画パラメータの推定に関する研究
②対象者及び対象期間	新潟脳外科病院にて 2019 年 5 月（サイバーナイフ治療開始）～2021 年 9 月までにサイバーナイフを用いた頭部への放射線治療を立案された患者さんが対象となります。
③概要	小さい病巣に集中的に放射線を照射する治療に特化したサイバーナイフでは、コンピュータが作った治療計画が実際に正しく照射されるのかを事前に確認するために線量検証(コンピュータで事前に計算した結果と放射線測定機器により取得した測定値の一致度を判定する検証)が行われています。しかし、サイバーナイフでは従来の放射線治療装置とは異なり、どのようなパラメータ(例:腫瘍の形や照射する放射線の量等の設定値)が検証結果にどの程度の影響を与えるか明らかになっていない部分があります。そこで本研究ではサイバーナイフによる治療データを対象とし、線量検証結果に影響を与える治療計画パラメータの種類を推定する研究を行います。
④申請番号	2021-0199
⑤研究の目的・意義	サイバーナイフ治療の線量検証結果に影響を与える治療計画パラメータを明らかにすることを目的とします。本研究により将来行う治療計画の質が高まることが期待されます。また、発展として線量検証結果の予測システムの開発などに繋がると考えられます。
⑥研究期間	2021 年 10 月 26 日から 2023 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	数値的な解析を目的として、放射線治療データを用います。新潟脳外科病院で解析を行うほか、個人を特定できないようにしたデータは新潟大学大学院保健学研究科でも解析を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	放射線治療の線量検証結果と、これに影響しうる治療計画パラメータ(放射線をかける範囲、量、腫瘍の形など)
⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院保健学研究科、新潟脳外科病院放射線治療科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院保健学研究科 笹本龍太 新潟脳外科病院放射線治療科 丸山克也
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学大学院保健学研究科 放射線技術科学分野 氏名：笹本龍太 Tel：025-227-0521 E-mail：rsasa@clg.niigata-u.ac.jp